

「周波数資源開発シンポジウム 2015」開催のお知らせ

一般社団法人電波産業会（ARIB）は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）との共催により「周波数資源開発シンポジウム 2015 –ロボットに必要な電波利用システム–」を開催します。

ロボットは、今後様々な分野での活用が期待されています。例えば、農業分野等では、肥料や農作物の積み下ろし作業といった重労働の補助や、周囲の環境を自動認識し、他の農業機械と連動して自律走行や遠隔制御される高度な農業用ロボットの登場が期待され、また、建設分野では、無人化施工システムや老朽化するインフラの維持管理、さらに、災害の現場では、災害調査や災害復旧・救助でのロボットの活用が期待されています。さらに、セキュリティ分野は確実な巡回監視や過酷な環境での警備が可能なロボット警備の時代に移行しようとしています。

このような様々な種類のロボットでは、遠隔監視や制御さらに画像伝送等に電波利用が必須であり、さらに、環境インフラと連動し、環境配慮型インターフェースとして機能するネットワークロボットの実現も想定されています。

昨年 11 月、ARIB 内に設立された「ロボット用電波利用システム調査研究会」では、災害や産業用ロボットの利用の現状と動向を踏まえ、無線通信ニーズを把握し、必要となる電波利用システムの技術的条件や他システムとの周波数共用の可能性などを検討し、様々な分野におけるロボットの円滑な導入を支援するための方策をまとめる予定です。

本シンポジウムでは、ロボットに必要な電波利用システムの技術について、産学官の専門家による講演を行います。研究者や専門家のみならず、多くの方の参加を心からお待ち申し上げております。

記

- 1 日 時：平成 27 年 7 月 10 日（金） 13 時から
- 2 会 場：明治記念館（東京都港区元赤坂 2-2-23）
- 3 主 催：一般社団法人電波産業会
国立研究開発法人情報通信研究機構
後 援：総 務 省
協 賛：情報通信月間推進協議会
- 4 テーマ：「ロボットに必要な電波利用システム」
- 5 定 員：250 名
- 6 参加費：無料
- 7 問合せ先：一般社団法人電波産業会 樋口
(TEL：03-5510-8593 e-mail：higuchi@arib.or.jp)

情報通信月間参加行事
「周波数資源開発シンポジウム 2015」
——ロボットに必要な電波利用システム——

時間	次第	講師 (敬称略)
12:30	開場	
13:00	開会	
13:00～ 13:05	開会挨拶	国立研究開発法人情報通信研究機構 理事 伊丹 俊八
13:05～ 13:10	来賓挨拶	総務省 総合通信基盤局 電波部長 富永 昌彦
13:10～ 13:50	基調講演 最近の電波政策の動向について	総務省 総合通信基盤局 電波政策課長 田原 康生
13:50～ 14:30	講演1 ロボット用電波利用システムについて	工学院大学准教授 一般社団法人電波産業会 ロボット用電波利用システム調査研究会 委員長 羽田 靖史
14:30～ 15:10	講演2 自律走行型ロボットトラクターを用いた豪州での 精密農業実証のご紹介	株式会社日立製作所 社会イノベーション事業推進本部 部長 菅原 敏
15:10～ 15:20	(休憩)	
15:20～ 16:00	講演3 セキュリティ分野におけるロボットの活用とそれ を支える技術	セコム株式会社 IS 研究所 コミュニケーションネットワークグループ リーダー 渡並 智
16:00～ 16:40	講演4 自律型海中ロボットについて	九州工業大学 社会ロボット具現化センター長 特別教授 浦 環
16:40～ 17:20	講演5 NICT におけるロボット通信の研究開発動向 (UAS 制御・UAS 中継・UWB 測位を含む)	国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所 ディペンダブルワイヤレス研究室長 三浦 龍
17:20～ 17:25	閉会挨拶	一般社団法人電波産業会 専務理事 松井 房樹
17:25	閉会	

プログラムは予告なく変更される場合があります。

情報通信月間参加行事 「周波数資源開発シンポジウム 2015」 会場案内図

(平成27年7月10日(金) 13:00開会)

明治記念館案内図



- 電車：JR（中央・総武線）信濃町駅 下車徒歩3分
地下鉄（銀座線・半蔵門線・大江戸線）青山一丁目駅 下車（2番出口）徒歩6分
地下鉄（大江戸線）国立競技場駅 下車（A1出口）徒歩6分
バス：都バス「権田原・明治記念館前」下車徒歩1分
（品97）新宿駅西口ー品川車庫前
車：首都高速4号線（外苑出口）
* 250台まで収容できる専用駐車場がございます